

令和6年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	南与野第1自転車駐車場ほか5施設(Cグループ 中央区)
(2)施設概要	①所在地 ・南与野第1自転車駐車場(中央区鈴谷2丁目1221番地) ・南与野第2自転車駐車場(中央区鈴谷1丁目513番地) ・与野本町第1自転車駐車場(中央区本町東2丁目128番地) ・与野本町第2自転車駐車場(中央区本町東1丁目99番地) ・与野駅西口臨時自転車駐車場(中央区大字下落合1055番地) ・けやきひろば自転車駐車場(中央区新都心10番地) ②施設の設置目的 ・自転車等利用者の利便性を図るため ③施設の概要 ・自転車等駐車場
(3)指定管理者	NCD株式会社
(4)指定期間、管理経費	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②管理経費(直近3か年) 令和4年度55,932千円、令和5年度60,615千円、令和6年度66,846千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 6月(利用が安定する時期)の利用状況は、令和5年度が2,567台/日、令和6年度が2,651台/日でした。 ◇業務実施状況 自転車等駐車場の利用許可や利用料金の収入及び還付に関する業務を行いました。 ②維持管理業務の状況 植栽管理業務、シャッター保守点検業務、消防用設備点検業務、自転車駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行いました。
(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入 65,019千円(前年度65,587千円) ②支出(実績額) ・人件費 36,360千円(前年度 31,664千円) ・事務費、事業費 31,625千円(前年度 20,842千円) ・修繕費 450千円(前年度 944千円) ③納付金 ・収入－管理経費 0千円(前年度 4,972千円) ※収入が管理経費以下の場合0千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	【アンケート実施期間: 令和6年12月12日～令和6年12月26日】 けやきひろば自転車駐車場をはじめとする複数の駐輪場において、「自転車が出しにくい」とのご意見を多く頂戴しております。これは、満車あるいはそれに近い混雑した利用状況が続いていることが主な要因であると考えております。一方で、「スタッフが入出庫を手伝ってくれるので助かる」といったご意見も複数いただいております。混雑の中でもご利用者様に継続してご利用いただいている背景には、スタッフの対応が一定の評価を得ていることも要因と捉えております。 今後も、より快適で利用しやすい駐輪環境の整備を目指し、場内整理の頻度や人員の配置、対応時間の見直しなどについて検討を進めてまいります。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
サービス向上への取り組み	与野駅西口臨時自転車駐車場においては、地上階(1階)において以前よりチャイルドシート付き電動自転車のご利用が多く見受けられましたが、混雑を避けて2階をご利用される方も徐々に増加傾向にあります。ご利用者様から直接のご意見はありませんでしたが、日々駐輪場に立つスタッフより「2階のラックに駐輪する際、ご利用者様が使いにくそうにしている」との声が寄せられました。こうした駐輪場の観察に基づき、チャイルドシート付き電動自転車や太タイヤの自転車など、通常のラックでは駐輪が困難な特殊自転車向けに、平置きスペースを新たに設置いたしました。設置後は多くのご利用者様から好意的な反響をいただいております。今後の成果が見られています。 今後も利用状況を注視しながら、必要に応じて平置きスペースの拡張を検討してまいります。
安心・安全に利用していただくための取り組み	令和5年度に引き続き、有資格者によるご利用者様の自転車を点検する「自転車安全点検キャンペーン(無償)」を実施いたしました。 点検に参加されたご利用者様の中には、本キャンペーンの実施を心待ちにしていた方もいらっしゃいました。実施後には電動空気入れの利用率が上昇するなど、自転車の安全利用や日常点検の重要性を広く啓発する有効な機会となっていることを実感しております。 また、与野駅西口臨時自転車駐車場においては、「出入口通路に微妙な段差があり気になる」とのご意見を頂戴しました。スタッフの視点では安全利用に支障はないと判断しておりましたが、ご利用者様の目線を重視し、該当箇所の舗装補修を実施いたしました。この対応に対しては、ご意見をいただいた方のみならず、他のご利用者様からもお礼の言葉を頂戴しており、ご満足いただけたものと受け止めております。このことから、改めてご利用者様の立場に立ち、駐輪場を俯瞰して捉える視点の重要性を実感いたしました。 今後も、ご利用者様が安心・安全に駐輪場をご利用いただける環境の整備に努めてまいります。
利用促進に向けての取り組み	与野駅西口臨時自転車駐車場の利用促進を目的として、与野駅西口ロータリーにてポケットティッシュの配布を実施いたしました。当該駐輪場は駅からやや離れた場所に位置し、外からも見えにくい目立ちにくいことから、周知には直接的な対面広報が有効であると考えております。実際、ポケットティッシュを受け取った方からは「空きはありますか?」「原付バイクも駐車できますか?」といった問い合わせが寄せられるなど、反響も良好でした。 この取り組みは、一定の認知効果が得られたと実感しており、今後さらに成果につなげるためには継続的な実施が重要であると考えております。引き続き、ポケットティッシュの配布を含めた利用促進策を検討・実施してまいります。
管理員のスキル向上への取り組み	より質の高いサービスを提供するため、スタッフを対象とした年間研修計画を策定し、実施いたしました。 新人スタッフに対しては、安全管理、接客マナー、緊急時対応、設備管理など、業務に必要な基礎知識を網羅した座学研修に加え、駐輪場での実地研修も行いました。これにより、知識の定着と即戦力としての育成を図っています。 また、火災や地震など非常時を想定した訓練については、地元消防との連携のもと実施し、実践的な対応力の向上にも取り組みました。 今後もスタッフのスキル向上を継続的に図り、地域に密着した、安全で信頼される駐輪場運営を目指してまいります。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

令和6年度は、全体的な売上や利用率に令和5年度と比較して大きな変化は見られませんでした。非常に大きな変化があった駐輪場がありました。それは南与野第1自転車駐車場で、周辺の再開発影響で出入口が既設と反対側に変更となったり、工事に伴う仮囲いにより駐輪場自体が視認し難くなったりと状況が大きく変化しました。これにより一時利用のご利用様が大半半減するなど、収入面に置いても非常に大きな痛手となりました。

売上については、前述のとおり令和5年度と比較して大きな変動はなく、微減という結果となりました。具体的には、令和5年度が65,587,000円であったのに対し、令和6年度は65,019,000円となり、約568,000円の減少となりました。この減少額は、南与野第1自転車駐車場における定期利用・一時利用を合わせた売上の減少とほぼ一致しており、同駐輪場の影響が大きかったことがうかがえます。その他の駐輪場については、令和5年度と比較して同等水準、もしくは微増減の範囲内に収まりました。しかし、南与野第1自転車駐車場の動向を踏まえると、次年度にはより大きな影響が出る可能性もあるため、利用促進や周知活動など、利用者増加に向けた取り組みを強化してまいります。

支出・経費については、懸念されていた光熱費の上昇が予想以上に大きくなったものの、日々の節電の取り組みが功を奏し、大きな影響を受けることなく年度を終えることができました。今後も光熱費の高騰が見込まれることから、引き続き節電を徹底するとともに、照明のLED化をはじめとした省エネルギー機器への更新を進めてまいります。

修繕については、定期的な保守点検はもとより、日々のスタッフによる目視点検を通じて不具合の早期発見に努め、大きなトラブルが発生する前に予防的な保全修繕を実施しました。また、実際に不具合が生じた際も迅速な対応を徹底することで、ご利用者様にご不便をおかけすることなく、安心してご利用いただける施設環境の維持に努めてまいりました。

令和7年度においても、エネルギー価格や物価の高騰といった不安要素が引き続き懸念されますが、さいたま市様、さいたま市シルバー人材センター様をはじめとする関係各所と緊密に連携を図り、ご利用者様が安心してご利用いただける駐輪場運営を、誠実かつ着実に継続してまいります。今後も、地域社会に貢献し、住民サービスのさらなる向上に努めてまいります。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:都市局交通政策部自転車まちづくり推進課)

総合評価(B) ※A~D

- ・有資格者による「自転車安全点検キャンペーン」を実施し、自転車の安全利用や日常点検の重要性を広く啓発したことが良い取り組みであった。
- ・与野駅西口臨時自転車駐車場において、ニーズに応じて平置きスペースを設置した点や、利用者からの意見に寄り添い段差の解消を行ったことが良い取り組みであった。
- ・スタッフを対象とした年間研修計画を策定し、基礎的な各種座学研修および駐輪場での実地研修を行うことで現場スタッフのスキル向上を図った点が優れていた。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・引き続き、安心安全な施設の管理・運営に努められたい。